

日本の大学での交換留学

UCA クレルモン オーヴェルニュ大学
アリアーニ・リナ

東京のお茶の水女子大学に半年間留学しました。スタッフや先生たちはとても親切で、毎週の「ホームルーム」の時間にキャンパスや大学のシステムについて詳しく教えてくれたので、日常生活にとってもスムーズに慣れることができました。



2023年10月に来たとき、私は日本語を一言も話すことができませんでした。難しかったです。さまざまな日本語の授業を受けることで、より自由にコミュニケーションをとることができるようになりました。

お茶の水女子大学は規模が小さくて静かな雰囲気があり、女子大学なので他の大学とは雰囲気が違います。この環境のおかげで、私は日本の生活に完全に溶け込むことができました。新しい友達との交流ができたり、留学のハードルを乗り越えるためにたくさんのサポートをしてもらったりして、日々の生活がより豊かになりました。

留学中は木曜日に茶道部に所属していました。そこで私は私の大好きな芸術の一つであるお茶を学ぶことができました。先生も部員も英語が話せなかったのが、日本語の上達に役立ちました。先生はとても優しく、マンツーマンで手順を教えてくれることも多かったです。これで私はさらに自信が持てるようになりました。ずっと抹茶に興味を持っていましたが、部活を通じて抹茶について知り、さらに興味が広がりました。



迷わず、私のお気に入りのアクティビティの1つは、暖かい秋の午後に着物を着ることでした。伝統衣装を着ることができてとても光栄でした。お茶大では本当にたくさんことができるのが印象的です。東京での生活にはすぐに慣れるでしょう。結局のところ、それは世界最大の都市です！クラスで出会った友達のおかげで、一緒に勉強したり、旅行したりすることができました。彼らは東京の好きな場所や好きな食べ物について話してくれました。彼らの視点から日本を知ることができて嬉しかったです。私は多くの素晴らしい友人を作り、日本の生活、価値観、目標についてより深く

理解することができました。離れるのは悲しいですが、短い旅行のように感じますが、勉強を続けるために戻ってくると思うと、学び続けて最後の瞬間を大切にすることがモチベーションが生まれます。

お茶大のチューターとはとても仲良くなりました。彼女は最初の2か月間、日本語を学ぶのをたくさん助けてくれました。彼女に感謝したいと思います。

最後に、大学の先生方、特に私の指導教官である田中先生に感謝いたします。彼の忍耐力と率直さに感謝しています。同様に萩原先生にも感謝申し上げます。私が間違えた時、彼女のアドバイスと情報は常に役に立ち、よく考えられていました。音羽館のスタッフの方々には日々の生活をとても支えていただきました。特に佐藤さんにはとても親切にいただき、その優しさは今でも忘れられません。クラブのメンバーにも感謝したいと思います。